



2022年11月1日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中島 伸子  
(コード番号 2209 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 専務取締役ファイナンス室長 富永 治郎  
(TEL 059-234-2146)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,900	百万円 600	百万円 650	百万円 400	円 銭 30.57
今回修正予想(B)	21,493	1,143	1,526	1,337	102.19
増減額(B-A)	1,593	543	876	937	
増減率(%)	8.0	90.5	134.9	234.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	19,527	625	749	461	35.27

#### 2. 修正の理由

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上面では夏場の主力商品「あずきバー」シリーズが好調に推移するとともに、「やわもちアイス」シリーズでは10周年記念商品が売上増加に貢献しました。米国においてもIMURAYA USA, INC. の輸入商品の販売が大きく伸長し、売上高が計画を上回る見込みとなりました。コスト面では、原材料価格やエネルギーコストが上昇する中、継続した生産性向上活動によりコスト削減が図られました。また、円安の進行により、海外事業との取引における為替差益の発生や、建設中の井村屋株式会社新工場「あのお FACTORY」での、輸出促進に関する補助金収入の計上により利益が増加しました。これらの結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ前回発表予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、不安定な世界情勢を背景に原材料価格や物流コストの上昇に加え、消費動向も依然として先行き不透明な状況が続いている事を慎重に考慮し、2022年5月12日に公表いたしました予想値に変更はありません。今後の動向に応じて業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により該当予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上